



EXTRA, EXPERT AND EXTREME EXPRESS--

2008 VOL.
1



Photo by H.Wakita(c)

秋吉耕佑が圧巻の速さでポールポジションを獲得! 秋吉を止めるライダーは現れるか!?



秋吉耕佑のチームメイト酒井大作も、ノックアウト第3セッションで秋吉と共に1分49秒台をマーク。



ノックアウトの各セッションでは常にトップに次ぐタイムをマークしてきた中須賀克行。フロントロウ3番手。

INFORMATION

ライブトークショーなどステージイベント盛りだくさん!

- ＜ライブトークショー＞
●日時: 4月6日(日) 13:30~14:00
●場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ
●出演: 宇井 陽一、仲城 英幸、富沢 祥也 (敬称略)

- ＜キャンギャル&チームオンステージ＞
●日時: 4月6日(日) ①11:00~ ②14:50~
●場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ

※イベントは、天候その他の理由により、予告なしに変更・中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。



TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

10:20	-	GP125 コースイン〜選手紹介	
10:35	-	GP125決勝レース	10Laps
11:15	-	ST600 コースイン〜選手紹介	
11:30	-	ST600決勝レース	15Laps
12:15 - 13:05	-	ピットウォーク CBR・YZF・GSX-R・ZX-Rスーパーバイクオーナーズミーティング [奥の松酒造] スーパーバイクエクスペリエンス(タンデムイベント)	
13:45	-	JSB1000 コースイン〜選手紹介	
14:05	-	JSB1000決勝レース	20Laps
15:00	-	GP250 コースイン〜選手紹介	
15:15	-	GP250決勝レース	10Laps
16:00	-	※レース終了後〜サーキットクルージング(2輪体験走行)	

QUALIFYING PRACTICE REPORT

最後のアタックが成功していれば1分48秒台は確実にあった秋吉 安田毅史は残念ながらケガで欠場を余儀なくされる



POLE POSITION 秋吉 耕佑 1'49.094

「バイクの仕上がりがよくて、このレースウイーク中で一番走りやすい。エンジンのコントロール性からタイヤ、サスペンションまで、すべて自分の支配下にある感じ。乗れているというわけではなく、スタッフに恵まれている。予選ではタイムを刻もうと思っていたわけじゃない。金曜日から49秒台に入っていたし、予選でもタイムが出るとは思っていた。でも、このレースウイークで問題点も増えてきている。解決できれば主導権を握るレースができると思う。それが解決しなくてもタイムは出るような乗り方はできるけれど、楽に出せるわけじゃないからうれしくないね。決勝は逃げるレースはしなないと思いますよ」

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ
●決勝レース コースイン/13:45
スタート/14:05(20周)

待ちに待った2008年シーズンが始まった。2006年にツインリンクもてぎが開幕戦の舞台になって以来、木曜日に特別スポーツ走行が設けられていたにもかかわらず、2006年は温度が低く、2007年は土曜日に雨に見舞われたこともあり、JSB1000のコースレコードは2005年に伊藤真一が記録した1分50秒679から更新されていなかった。しかし今年は事前テストからコースレコードを更新するライダーが表れていた。レースウイークに入っても木曜、金曜、そして公式予選が行われる土曜もドライコンディションに恵まれ、コースレコードが出る条件がそろってきていた。さらにノックアウト方式の最終セッションは12台のみという少数で行われるだけに、どんなタイムが記録されるか注目が集まった。

公式予選1回目が始まると、前評判通りヨシムラ



4番グリッド/ #62 横江 竜司 森のくまさん佐藤塾

の秋吉耕佑が1分49秒726をたたき出しあっさりコースレコードを更新。秋吉は木、金とトップタイムをマークしており、区間タイムのベストを足せば、すでに1分49秒7が出ていただけに秋吉にとっては想定内のタイムだった。

ノックアウト方式で行われた予選2回目の第1セッションには32台が出走。ここでも秋吉は、ただ一人1分49秒に入る1分49秒902をマーク。2番手の中須賀克行が1分51秒492と両者の差は1秒590も開いていた。上位陣は、まだ第1セッションで本気アタックをせず、マシンのセットアップを進めていた。第2セッションでは、秋吉のチームメイトである酒井大作が1分50秒582でトップにつけ、中須賀、秋吉、柳川明、山口辰也、伊藤真一、大崎誠之、横江竜司、佐藤裕児、徳留和樹、亀谷長純、手島雄介と1分51秒台で続き、ここまでの12台が第3セッションに進出した。

そして注目の最終セッションが始まった。第2セッションでは僅か3周しかしなかった秋吉は万全の体制でコースに出てゆく。アウトラップからハデなドリフト走行を見せていたが残り6分でピットイン。予選タイヤに履き替え、コースに戻ると1分49秒094をたたき出す。さらにペースを上げタイムアタックを続けるが、ビクトリーコーナーで失速してしまいタイムを更新できずにチェッカー。酒井も1分49秒台に入れ、ヨシムラが1-2を占めた。圧倒的な速さを見せる秋吉だが、レースウイークを通してマイナートラブルを抱えており、無然とした表情を見せる。しかし、セットアップも



5番グリッド/ #33 伊藤 真一 KEIHIN Kohara R.T.

まく進んでおり「マシンを支配下に置いている」と語り、抜きん出た存在であるのは変わらない。レースは秋吉が逃げる可能性が高いと言えるだろう。好調を維持している中須賀、酒井、ニューマシンを仕上げた伊藤、山口、着実にタイムを削ってきた柳川など、2位争いは熾烈を極めそうだ。

好調だった亀谷は、先週のテストで転倒。右手にヒビを入れてしまい痛みをこらえながらも健闘している。決勝でどこまで踏ん張れるか？

ホームコースで期待された安田毅史は金曜午後の走行で転倒。左肩を脱臼し、筋のつけ根を剥離骨折、さらに左小指のつけ根を骨折してしまい残念ながら今回は欠場を余儀なくされた。

[佐藤 寿宏]

KOTOBUKI'S EYE

ベテラン・クロッピーに注目! ピレリに世界帰りの関口など、話題盛りだくさん!!

ST600は何と43歳のベテラン「クロッピー」こと黒川武彦が全日本初ポールポジションを獲得! 黒川は、ここ数年もてローにエントリーしチャンピオンも獲得しており、走り慣れたコース。昨年も型落ちのマシンで健闘していたが、今年はニューマシンでチャレンジ。ピレリタイヤを履いており、ブリヂストン、ダンロップという日本の2大タイヤメーカーを抑えたことも特筆すべきことだ。同じピレリユーザーの清水直樹が4番手につけているのも注目したい。決勝で二人がどんな走りを見せるだろうか。成績次第では勢力図が変わる可能性もある。また岩田悟、小林龍太といった若手ライダーの成長も目を引くところだ。主導権を握るディフェンディングチャンピオン小西良輝が、どんな

レースを見せるか?

GP125も若手が力をつけてきている。5番手の日浦大治郎を筆頭に、渡辺一馬、尾野弘樹、大金佑樹、山田誓己などコースカッパのライダーたちが元気のいい走りを見せている。

GP250は高橋巧が昨年、後半から見せている安定した速さを披露。2番手に世界帰りの関口太郎がつけ、チャンピオンの宇井陽一が3番手となった。高橋のペース次第では関口と宇井にもチャンスがあるかもしれない。テストなしで自らのチームを立ち上げた及川誠人の頑張りにも期待したい。また富沢祥也も決勝になれば、ニンジンぶらさげた馬の如くペースを上げてくるだろう。

JSB1000 CLASS STARTING GRID

1	1'49.094 64 秋吉 耕佑 ヨシムラススキwithJOMO	2	1'49.820 39 酒井 大作 ヨシムラススキwithテンソー	3	1'50.253 21 中須賀 克行 YSP&PRESTOLレーシング
2	1'50.373 62 横江 竜司 RT森のくまさん佐藤塾	4	1'50.435 33 伊藤 真一 KEIHIN KoharaR.T.	5	1'50.529 19 山口 辰也 モリワキMOTULLレーシング
3	1'50.941 87 柳川 明 TEAM GREEN	6	1'51.055 11 徳留 和樹 DREAM HondaRT11	7	1'51.075 75 大崎 誠之 SP忠男レーシングチーム
4	1'51.311 5 亀谷 長純 Team 桜井ホンダ	8	1'51.586 81 佐藤 裕児 ワイスギアレーシング	9	1'51.881 48 手島 雄介 DREAM HondaRT48
5	1'52.377 26 辻村 猛 F.C.C.TSR	10	1'52.456 15 今野 由真 PLOT FARO ハンテラ	11	1'52.699 16 津田 一磨 Team 桜井ホンダ
6	1'53.513 54 浜口 俊之 BABIE'S Racing デイライト	12	1'53.857 13 波多野 祐樹 MotoMap SUPPLY	13	1'54.294 71 高橋 孝臣 MOTO BUM HONDA
7	1'54.575 18 奥田 貴哉 チームOSG&モトスポーツ	14	1'54.717 25 本田 晃司 Z-TECH&マルマエ/KMII	15	1'55.011 52 森井 威綱 Honda鈴鹿レーシングチーム
8	1'55.313 24 東村 伊佐三 RS-ITOH&KAZE	16	1'55.515 56 清水 郁巳 DREAM高崎B'WISE RT	17	1'56.044 31 古川 力也 HONDA派友会浜松エスカルゴ
9	1'56.077 704 中村 知雅 中村エンジン研究所	18	1'56.461 57 石川 朋之 angelaSBSKIDANI	18	1'57.317 88 野崎 俊宏 DREAM北九州・TEAMLIFE
10	1'57.741 44 児玉 勇太 ウイダー-D.D.BOYS	19	1'57.872 53 奈須 勉 奈須飯倉ドラゴンビーチモトラキーン	19	1'58.588 70 吉井 秀美 福島眼科JUMBO&AMENA
11	1'58.776 51 栗林 剛 Honda EGLレーシング	20	1'58.776 45 西嶋 修 BEET LUMIX RACING		

全日本ロードレース選手権

GP125 youth CUP に注目しよう!

17歳以下の選手を対象にGP125クラスに設定されている『youthCUP』には、スポット参戦も含めて14名のライダーがエントリーしている。今大会の公式予選でも、日浦大治朗が4番手、渡辺一馬が6番手につけるなど、その多くが上位に食い込んでおり、これからの活躍が楽しみなライダーばかり。彼らの戦いに注目してほしい!



【前列】左から、山田 賢己、大久保 光、山本 剛大、日浦 大治朗、藤井 謙汰、日浦 徹、尾野 弘樹
【後列】左から、中本 翔、渡辺 一馬、石崎 司也、矢作 雄馬、大金 佑輝、尾野 郡司

ST600

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ
●決勝コースイン/11:15 スタート/11:30(15周)

POLE POSITION INTERVIEW

もてぎマイスターの43歳黒川武彦。全日本初ポールポジション!



POLE POSITION 黒川 武彦 1'56.930

「国際に上がって23年で初めてのポールポジション。1分56秒台は出そうという目標はあったけれど、自分が速かったというより、周りのセットアップが遅かったんだと思う。僕はもてぎロー(もてぎロードレース)に出たので、そこでセットアップができたかな。でも完全というわけではなく、ごまかしながら集中して走っていた。決勝はきっと抜かれてもついていくのが精一杯。ポジションを落とさないように気をつけてベストな走りになりたいね」

ST600

予選結果

Pos No.	Name	Time	Team
1	黒川 武彦	1'56.930	松本クリニックカレージスピード
2	岩田 悟	1'56.940	F.C.C.TSR
3	小西 良輝	1'57.006	急募.com HARC-PRO.
4	76 清水 直樹	1'57.179	RS-ITOH&KAZE
5	73 小林 龍太	1'57.230	急募.com HARC-PRO.
6	2 高橋 英倫	1'57.343	TEAM GREEN
7	4 野田 弘樹	1'57.455	テルル・ハニービーレーシング
8	8 寺本 幸司	1'57.579	PLOT FARO ハンテラ
9	14 森 新	1'57.752	CLUB HARC-PRO.
10	19 大石 正彦	1'57.846	伊藤RACING・GMDスズカ
11	10 福垣 誠	1'57.875	ハーニングブラッドRT
12	18 高橋 江紀	1'57.914	KEIHIN KoharaR.T.
13	20 東浦 正周	1'57.939	DAIICHI&プラスムュー
14	43 生形 秀之	1'58.036	エスハバルスドリームレーシング
15	21 中山 真太郎	1'58.092	KoharaRC
16	33 莉田 庄平	1'58.153	RS-ITOH&KAZE
17	23 津田 拓也	1'58.385	チームOSG&モトスポーツ
18	77 出口 修	1'58.424	DyDo Miu Racing
19	13 泉本 真宏	1'58.665	RT森のくまさん佐藤塾
20	55 國川 浩道	1'58.717	DyDo Miu Racing
21	70 佐竹 隆幸	1'58.735	チームOSG&モトスポーツ
22	24 大木 崇行	1'58.991	Club HARC-PRO.
23	5 武田 雄一	1'59.094	HITMAN RC甲子園ヤマハ
24	34 中島 大輔	1'59.296	アンビジャスレーシングチーム
25	31 中津原 尚宏	1'59.352	研友会栃木PGR+ATS
26	83 須貝 義行	1'59.497	チームドゥカティレーシングジャパン
27	54 井上 哲悟	1'59.566	GRACE RACING TEAM
28	42 岡崎 晋也	1'59.595	TeamGTM ATOMIC
29	65 小菅 岳大	1'59.760	Club HARC-PRO.
30	39 新庄 雅浩	1'59.822	MotoMap SUPPLY
31	60 古畑 博志	1'59.918	レーシングチームハニービー
32	29 行方 知基	2'00.129	MotoMap SUPPLY
33	61 川原 英爽	2'00.364	G-TRIBE☆AS-TAKA
34	44 齊藤 一輝	2'00.435	ウイングヨシイRC
35	47 小田 茂輝	2'01.054	エスハバルスドリームレーンジャー
36	56 高田 速人	2'01.249	D関東☆松戸RACING
37	62 内澤 宏之	2'01.285	Compus&CROSSROAD
38	64 和田 憲史郎	2'01.323	VEGA&Z-TECH★KMII
39	59 落合 勝	2'01.332	DOG FIGHT RACING
40	38 草薙 伸一	2'01.659	DOG FIGHT RACING

GP 125

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ
●決勝コースイン/10:20 スタート/10:35(10周)

POLE POSITION INTERVIEW

巧者・徳留真紀がセッションをリード! 決勝は混戦になるか!?



POLE POSITION 徳留 真紀 2'01.314

『ツインリンクもてぎは一番苦手のコースだけれど、今年はマシンがいい感じで仕上がっている。周りもタイムが上がっていないし、このタイムでポールポジションが取れてよかった。僕自身もうちょっとタイムが出せようと思ったけれど、他のマシンに引っかかってしまいタイム更新できなかった。決勝はいいスタートを決めて、グループになりそうなので混戦にならないようなレースにしたい。去年の開幕戦はケガをしていたので、まずは表彰台に乗ればいいかな』

GP125 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	2	徳留 真紀	2'01.314	チーム テック・2
2	1	岩田 裕臣	2'01.643	DyDo MIU Racing
3	6	柳沢 祐一	2'01.725	18 GARAGE RACING TEAM
4	7	山田 亮太	2'01.811	TEAM PLUS ONE
5	46	日浦 大治朗★	2'01.851	Team NOBBY
6	16	渡辺 一馬★	2'02.125	TEAM PLUS ONE
7	11	浪平 伊織	2'02.200	Honda鈴鹿レーシングチーム
8	8	菊池 寛幸	2'02.206	F.C.C.TSR
9	14	尾野 弘樹★	2'02.285	BATTLE FACTORY
10	37	大金 佐輝★	2'03.022	ENDURANCE&橘川塾
11	15	古市 右京	2'03.172	TEAM ASPIRATION
12	81	山田 賢己★	2'03.195	伊藤RACING・GMDスズカ
13	10	竹内 吉弘	2'03.500	プロマチックアイMS&YUE
14	22	矢作 雄馬★	2'03.567	橘川塾&ENDURANCE
15	21	東 幸寛	2'03.617	Team AZUMA+sonic
16	31	花房 一樹	2'03.651	チーム テック・2
17	78	大久保 光★	2'03.809	橘川塾&ENDURANCE
18	56	山本 剛大★	2'04.272	Team NOBBY
19	72	鎌田 悟	2'04.307	ENDURANCE+橘川スポーツランド
20	4	仲城 英幸	2'04.493	Team Projectμ FRS
21	61	今中 満	2'04.513	team RISKY
22	48	中本 翔★	2'04.786	RT・OUTRUN with ASS
23	33	村田 憲彦	2'04.860	CLUBBY'S☆J-OFFICE
24	28	天野 邦博	2'05.062	Honda狭山レーシングチーム
25	50	尾野 都司★	2'05.081	BATTLE FACTORY
26	18	宮谷 慎一	2'05.097	TEAM PLUS ONE
27	41	沖藤 陽一	2'05.152	オートテックニックススポーツ48会
28	34	日浦 徹★	2'05.379	Team NOBBY
29	26	小磯 栄	2'05.403	モトアルファ&大洗サーキット
30	75	松村 信人	2'05.460	KTR&ENDURANCE
31	25	長谷川 稔	2'05.523	team RISKY
32	36	加藤 洋治	2'05.584	CLUB FRS
33	39	権藤 俊光	2'05.620	BATTLE FACTORY
34	53	人見 研吾	2'06.026	プロマチックアイMS&YUE
35	38	須藤 竜之助	2'06.057	青空・racingライドスポーツ
36	47	森 隆嘉	2'06.081	TEAM PLUS ONE
37	73	小室 旭	2'06.256	SQUAREプロジェクトハルク
38	44	福島 宏幸	2'06.942	team RISKY
39	62	佐藤 正之	2'07.042	Team i-FACTORY
40	63	石崎 司也★	2'07.449	KTR&たかだ農園

GP 250

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選日:天候/晴れ 路面/ドライ
●決勝コースイン/15:00 スタート/15:15(10周)

POLE POSITION INTERVIEW

高橋巧が速さを見せP.P.獲得! 世界から復帰した関口は2番手



POLE POSITION 高橋 巧 1'53.913

『予選のポジションよりコースレコードを目指して走ったけれど、ベストを出した周にミスをしてしまい目標タイムに届かなかった。決勝は周回数が少ないので、スタートで失敗しないようにして逃げ切るレース展開にしたい。今シーズンは全戦優勝を狙っているので、どのサーキットでもできるだけタイムを更新して、少しでも差をつけて勝ちたいです』

GP250 予選結果

Pos	No.	Name	Time	Team
1	2	高橋 巧	1'53.913	バーニングブラッドRT
2	32	関口 太郎	1'54.864	Henkel プラスミー
3	41	宇井 陽一	1'55.353	PRO-TEC&SEV.spruce/
4	3	及川 誠人	1'55.634	WILL-ACCESS&SJR
5	11	渡辺 一樹	1'56.247	RT森のくまさん佐藤塾
6	5	濱本 裕基	1'56.451	SP忠男レーシングチーム
7	48	富沢 祥也	1'56.473	Team Projectμ FRS
8	12	伊藤 勇樹	1'56.721	DOG FIGHT RACING
9	7	秋谷 守	1'56.992	チーム モトスペース
10	56	山崎 都	1'57.864	HITMAN RC甲子園ヤマハ
11	46	星野 知也	1'58.257	WINJACK&4413
12	24	水野 那由太	1'58.609	テック2レーシング
13	72	木村 旭厚	1'58.682	PRO-TECB大工学部校友会
14	10	及川 玲	1'58.743	ベンタグラム&(株)嶺岡&M-Racing
15	93	遠藤 卓実	1'58.818	PRO-TEC&SEV.spruce/
16	14	中本 一	1'59.051	RT・OUTRUNwithASS
17	76	柴原 誠	2'00.066	k-max racing
18	19	小口 理	2'00.244	ALLMAN&OWR小口歯科
19	75	高杉 奈緒子	2'00.818	DREAM高崎B'WISE RT
20	21	福山 京太	2'01.062	TeamDankeRacing
21	22	小口 亘	2'01.550	ALLMAN&OWRACING
22	53	久保山 正朗	2'03.102	HONDA浜友会浜松工スカルゴ
23	36	飯塚 弘樹	2'03.421	ガレージ国政&飯塚自動車商会

GP-MONO

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選・決勝開催日:4月5日(土)
●天候/路面 予選(晴/ドライ) 決勝(晴/ドライ)
●決勝レース/7周

RACE RESULT

好スタートから逃げ切った乃村が初優勝!! 2位安村、3位に比企。



WINNER 優勝/乃村 康友 (写真中央)

『ホールショットを取れたら、その後は自分の方が(中木さんより)速かったんで、逃げ切れると思っていました。終盤はラップ毎に後ろのタイムを気にしてはいたけど...開発も兼ねてテストしているので、タイムを上げることに集中できないですが、自分の開発したMDでユーザーが少しでもいい結果、いいタイムを出せれば、うれしいですね。今シーズンはとにかく全部勝ちたいと思っていますが、今は初優勝で頭の中が真っ白になっているので、ホッとしたのが本音です』

2ND PLACE 2位/安村 武志 (写真左)

『予選でエンジンが壊れて、決勝は新品に載せ替えてぶっつけ本番だったから、序盤はペースが上がらなかった。中盤からペースが上がって最後に乃村選手と勝負したんですが、少し欲張ったらオーバーランしてしまいました。今年は常に上位を走りたいですね』

3RD PLACE 3位/比企 徹

『とにかく一つでも前の人を抜いて勝つことだけを考えて走りました。最初は様子を見ながらペースを上げようと思っていたんですが、結構離れてしまったので、自分のペースを守りました。初めての表彰台でとてもうれしいです』

GP-MONO 決勝レース結果

Pos	No.	Name	Lap	Time	Team
1	3	乃村 康友	7	14'52.741	モリワキクラブ
2	11	安村 武志	7	14'52.914	テック2レーシング
3	18	比企 徹	7	15'00.288	DyDo MIU Jr.
4	9	岡田 義浩	7	15'00.985	K&LJAPAN・RH松島
5	26	谷川 杜洋	7	15'01.518	TEAM PLUS ONE
6	51	藤井 謙汰	7	15'06.508	F.C.C.TSR
7	8	山本 晃大	7	15'07.223	M-KID'S
8	45	長島 哲太	7	15'07.405	Team Projectμ FRS
9	71	林 達也	7	15'07.758	TeamA・A・O&MOTOBUM
10	48	横市 拓歩	7	15'16.432	18 GARAGE RACING TEAM
11	16	赤間 清	7	15'16.631	CLUB HARC-PRO.
12	74	斎藤 幸大	7	15'19.110	ウイングヨシイRC
13	151	吉道 竜也	7	15'20.374	レーシングチームハニービー
14	21	小畑 仁	7	15'22.794	MOTO WIN RACING
15	37	小木 隆浩	7	15'24.359	18 GARAGE RACING TEAM
16	24	伊東 忠孝	7	15'24.674	青空・racingライドスポーツ
17	40	畑中 要	7	15'30.535	FTR・タイヤナビ・Big☆教
18	52	川村 明	7	15'30.849	MOTO WIN RACING
19	39	市村 謙太郎	7	15'35.705	MOTO BUM & PGR
20	43	増田 颯也	7	15'46.043	クラブM+松田塾+鼎RT
21	34	山田 俊樹	7	15'56.338	バーニングブラッドRT
22	49	坪川 浩明	7	16'17.199	propman.jp
23	38	加藤 秀峰	7	16'17.462	結城レーシング
24	392	上中 靖司	7	16'19.426	MIKUNI-Beat Husky Project
25	53	宮内 康広	7	16'39.172	Honda EG-Racing
26	83	玉井 信介	6	15'18.690	エンデバー&ライドスポーツ
27	95	瀬古 直樹	6	16'42.918	ZIP BIKE &TOS-R
以下フィニッシュライン不通過:					
28	44	貝崎 圭典	5	11'11.927	バーニングブラッドRT
以上 規定周回数未走:					
2	中木 亮輔	3	6'27.600	モリワキクラブ	
19	江崎 屋学	1	2'19.751	IS-P.CC/プリミティブRT	
参加台数:33台 決勝出走台数:30台					
Rマークの車は、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 2'06.958					
BEST TIME					
No. 11	安村 武志	テック2レーシング	2'06.083	6/7	137.09Km/h
●規定周回数 5					